



税金に支えられた生活

大田区立東調布中学校 三年 浅岡 優花

私たち家族は昨年の秋、新型コロナウイルスに感染しました。近所の病院に行き、PCR検査を受け、薬を処方してもらいました。家に帰ってからも、保健師さんから体調確認の電話があったり、パルスオキシメーターを貸してもらったりしました。手厚いサポートを受けられたおかげで、安心して療養することができたのを覚えています。他にも、日本の全人口の八割近くが接種したというワクチンも全て無料でした。私はテレビニュースでこれらが全て税金から支払われていることを知りました。もし、これらが個人負担だったらどうなっていたでしょう。お金を持っていて裕福な人は病院に行き治療を受けることができますが、お金のない人は検査を受けることすらできず、感染はさらに拡大し、死者数も増え、日本は今とは比べ物にならないほど甚大な打撃を受けていたことでしょう。

私はこのような経験から、税に興味を持ちました。そして先日ちょうど私が住んでいる区で選挙があり、立候補者が街頭演説を行っているのを毎日のように通学途中に耳にしたのです。子育て支援や防衛費などを始めとする税金やお金の使い道について特によく話していました。

私は自分の住んでいる東京都では実際にどのようにお金が使われているのか調べました。私が特に驚いたのが、義務教育期間の公費負担額です。なんと小学校と中学校合わせると、一人あたり一千三百万円以上もお金を支払ってくれました。今まで何も知らずに公立の学校に通っていましたが、とてもありがたいことだと感じました。母にこのことについて話すと、「子どもは社会の宝物だからね。」と思ってもよらない返事がありました。しかし、将来は私たちが大人になり未来の日本を築いていくのだと考えると納得できました。同時に、責任のようなものも感じました。

私たちは今税金のおかげで、新型コロナウイルスのような緊急時にも対応できたり、健康で安心な毎日を送ることができています。

だから、税の使い道について考えることは、日本のこれからについて考えることにも繋がると思います。

私にできることは何でしょうか。普段から体調や怪我に気を付け、勉強に励むことで税金を無駄遣いせず有意義に使うことができると思えます。また、三年後には十八歳になり、参政権を得られます。みんなの大事なお金を、どのような用途にどのくらい使うのかをよく聞き、よく考えた上で投票したいです。そのためにも、今からニュースを確認したり、家族や友達とそのことについて話したりして、社会の動きに常に心を持っておかなければなりません。私はまだまだ、税金に支えられてばかりの立場ですが、大人になったら私が今ももらっているように、安心して豊かな社会をつくる力になりたいです。